

# ホタテガイ養殖管理情報

## 稚貝のサイズは小さめですが、早めの分散作業を

### 1 海況

9月25日時点の陸奥湾の中層（10～15m層）の日平均水温は図1のとおりです。水温は22℃前後になっており、今後1ヶ月間の水温は平年並みの見込みです。詳しくは、陸奥湾海況情報や海ナビ@あおもり（下記URL、QRコード）をご覧ください。

### 2 稚貝の状況について

9月13日～25日に湾内7地点で、7月下旬～8月上旬に採取した未分散稚貝の中段1段の成育状況を調査しました。測定結果は表1のとおりで、平均殻長は西湾で19.5mm、東湾で17.9mmと平成12～29年の高水温年を除く平均値（平年値）それぞれ21.5mm、19.5mmよりも小さいサイズとなっています。

へい死率は西湾で0.0%、東湾で0.5%と、平年値（それぞれ5.0%、5.5%）よりも低い値となっています。

### 3 稚貝分散作業時の注意点

- 現在の水温は、**稚貝が成長する23℃以下**になっています。また、1段当りの収容枚数が200～300枚台と多い地点が見られます。
- **分散が遅れると、稚貝の成長悪化や、異常貝増加によるへい死につながる**ので、**早めに作業を開始**してください。
- **収容枚数が多い場合や新貝と成貝向けの稚貝分散は10月末までに、収容枚数が少ない場合や半成貝向けの稚貝分散は遅くとも11月末までに終わらせる**ようにしましょう。
- 1段当りの**収容枚数が多いと成長悪化やへい死につながる**ので、養殖方法に応じた**適正な収容枚数（1段当り10～20枚）**を心がけて作業してください。
- 潮流によるぶつかり合いで、外套膜（ヒモ）が傷ついてへい死しないように、**ネットにはオモリをつけましょう**。また、潮流が速い場合は、作業を控えましょう。
- 作業終了後は波浪によるぶつかり合いを防ぐために、**施設を浮かせずぎ**ないようにしましょう。

### 4 新貝の養殖管理について

新貝の玉付け・籠換え・掃除は、**中層の水温が20℃を下回り、貝の体力回復の目安となる「フチがまわっている」**ことを確かめてから開始するようにしてください。

ただし、水温が22℃前後になっているので、**海底に籠や耳吊りが着底している場合は玉付けを行っても構いません**。

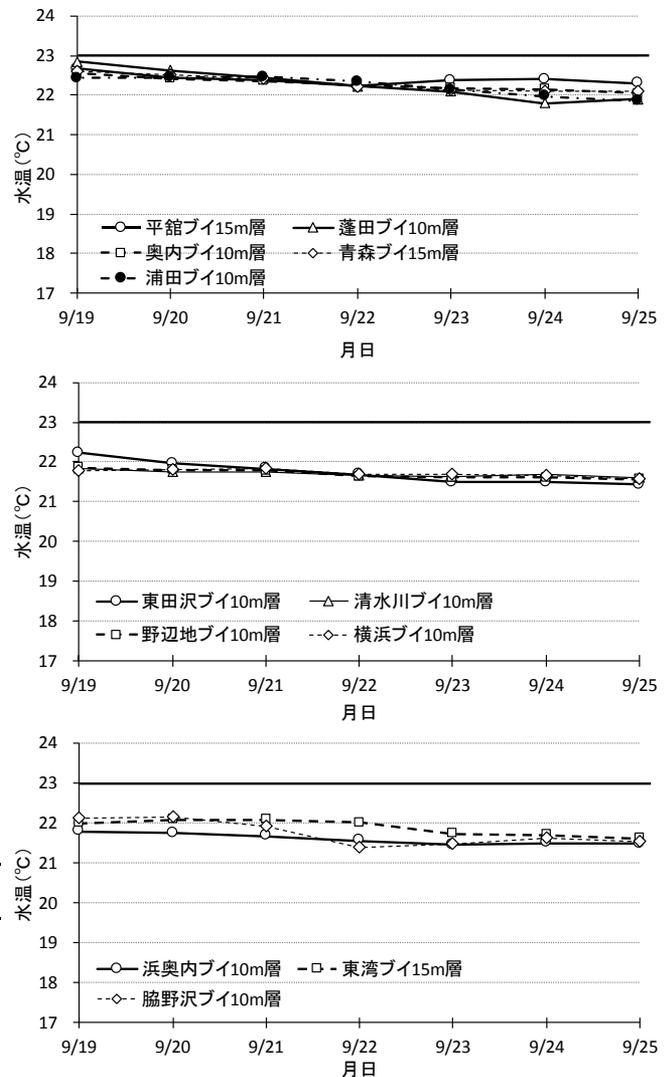


図1 海況自動観測ブイ（15m層）と水温観測ブイ（10m層）での日平均水温の変化

表1 各地点で7月下旬～8月上旬に採取した未分散稚貝の成育状況

調査場所	調査月日	幹綱水深 (m)	稚貝採取月日	稚貝採取時の篩いの目合(分)	パールネットの目合(分)	錘の有無・種類	生貝数 (枚)	死貝数 (枚)	へい死率 (%)	異常貝率 (%)	平均殻長 (mm)
A	9月25日	25	7月28日	1.5	2.0	なし	158	0	0.0	0.0	17.7
久栗坂実験漁場	9月25日	30	7月25日	2.0	2.0	コンクリート2kg	68	0	0.0	0.0	21.2
西湾平均							113	0	0.0	0.0	19.5
B	9月14日	20	7月25日	2.0	2.0	鉛50匁	182	2	1.1	5.0	16.9
C	9月13日	13	8月2日	2.0	2.0	鉛70匁	292	1	0.3	0.0	17.1
D	9月19日	15	8月4日	1.8	2.0	鉛100匁	158	0	0.0	0.0	16.2
E	9月14日	16	7月26日	1.8	1.5	鉛100匁	382	4	1.0	2.0	18.3
川内実験漁場	9月20日	20	8月2日	2.3	2.0	コンクリート2kg	64	0	0.0	0.0	21.2
東湾平均							216	1	0.5	1.4	17.9

